

森林法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第九回

付託議案
森林法中改正法律案(政府提出)
林業種苗法案(政府提出)

會議

昭和十四年二月二十三日(木曜日)午後二時
二十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小山邦太郎君

理事長野 綱良君 理事馬岡 次郎君

理事池田 清秋君 理事小山田義孝君

松尾 四郎君 松浦周太郎君

伊藤 五郎君 深澤 吉平君

北原阿智之助君 卯尾田毅太郎君

村瀬 武男君 篠原 義政君

松尾 孝之君 山川頼三郎君

稻田 直道君 中田 儀直君

伊東 岩男君 川俣 清音君

菊地養之輔君 小田 榮君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

農林省農務局長 小濱 八彌君

農林省山林局長 村上富士太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

森林法中改正法律案(政府提出)

林業種苗法案(政府提出)

○小山委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、松

尾委員ノ留保セラレタル質問ノ繼續ヲ願ヒ
マス

○松尾(四)委員 私ハ農務局長ニ治山治水

ノ問題ニ付テ一點御伺ヲ申上ゲタイコトヲ

留保シテ居リマシタノデ、簡單ニ御尋申上

ゲタイト思ヒマス、本法案ニ依リマシテ今

回我ガ國土保全ノ完璧ヲ期スルト云フ此ノ

大政策ヲ樹立サレルニ當リマシテ、農務局

デ御扱ニナツテ居リマス耕地整理ノ方ノ

會計ニ屬スルノダト思フノデスガ、開墾ノ

仕事デス、此ノ開墾ノ仕事ノ爲ニ、山ノ皮

ヲ剥イテ其處ニ栗ヲ植栽スル等ノコトガ各

所ニ行ハレテ居ルノデス、其ノ開墾ヲスル

コトハ相當ナ理由ガアツテオヤリニナルコ

トデアラウト思ヒマスカラ、ソレニ對シテ

異議ヲ挟ムモノデアリマセヌケレドモ、

其ノ跡ガ荒廢シテ居ルノデスガ、是ハ山林

ノ伐採ノ跡ヲ造林ヲ行ハナイデ荒廢シテ居

ルヨリモ實ニ甚シイ状態ニアルノデス、各

所ニソレヲ見受ケルノデアリマス、ソコデ

私ハ其ノコトハ當局ニ於テハ御承知ニナツ

テ居ラレルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイ

ノト、ソレカラ其ノ儘ニ放任シテ置カレル

ノカドウカ、放任スレバ又元ノヤウニ所謂

野山ニナツテ行クヤウニ思ヒマス、開墾ノ

目的ハ達シナイノデハナイカト思フ、假ニ

達シナイデモ野山ハヤハリ野山トシテノ保

存ヲサレテ行クコトニシテモ宜イト思フ

ノデスカ、其ノ方針ヲ一ツ承リタイ、

若シ其ノ儘續ケテ開墾ノ助成ヲサレタ目的

ヲ其ノ儘オヤリニナツテ行クノデアレバ、

相當ヤハリ援助ヲ繼續サレマシテ、ヤハリ

開墾者ニ對スル助成ヲ繼續サレナイト、山

林ノ伐採跡ノ荒廢ヨリハ甚シイ状態ガアリ

マシテ、是ハ獨リ唯外見上見苦シイト云フ

問題デハナイノデアリマシテ、大洪水ノ原

因ニナリ、崩壞ノ原因ニナル、所謂、砂防

ノ方面カラ見マスルト實ニ慘害ヲ起スノ原

因ニナツテ居ルト考ヘルノデアリマスガ、

此ノ點ニ對シテドウ云フ御考ニナツテ居リ

マスカ、簡單ニ御所見ヲ伺ツテ置キタイ

○小濱政府委員 開墾ヲ致シマシテ、其ノ

後ニ至リマシテ又ソレガ荒廢ヲ致シテ居ル

モノガ相當ニアルガ、ソレハ當局ニ於テハ

承知致シテ居ルカト云フ御尋デアルヤウニ

思ヒマス、開墾ヲ致シマスノニ付キマシテ、

開墾費ニ對シマシテ助成致シマスル場合ニ

シテ繼續シテ利用セラルルト云フコトヲ助

成ノ條件ニシテ居リマス、隨ヒマシテ其ノ

後荒廢ニ歸スルヤウナ場合ニ於キマシテハ、

助成ノ目的ヲ達シナイト云フコトニナリマ

スルガ故ニ、或ハ助成金ノ還附等ノ取締等

ガゴザイマスガ、個人ガ何等ノ助成ヲ受ケ

ナイデ開墾ヲシテ居リマスル部分ニ付キマ

シテハ、個人ガ開墾シマシテ栗ヲ植エマシ

テ、其ノ後ソレヲ何時マデモ栗林トシテ置

カナイデ、或ハ其ノ儘ニ雜木林ニナルノヲ

待ツト云フヤウナモノガアラウカト考ヘマ

ス、併シナガラ耕地トシテ開キマシタモノ

ヲ山林ニスルナラバ、山林ニスルヤウニシ

テ利用ヲ致ス方ガ宜イノデゴザイマセウ、

又荒廢ノ儘デ置クト云フコトヲ當局トシテ

ハ、ソレヲ宜シイト容認致スヤウナ次第デ

ハゴザイマセヌ、其ノ旨一ツ御諒承願ヒタ

イト思ヒマス

○松尾(四)委員 開墾助成金ヲ御交付ニナ

リマシテ、開墾ガ非常ニ盛ニナツタ時ハ、

御承知通り農山村ガ非常ニ疲弊困憊シマシ

テ、農村ノ金ガ無クナツタ爲ニ、高橋大藏

大臣ノ時代ニ、農村救済ノ爲ニ、兎モ角何

云フヤウナ建前デ、此ノ助成金ヲ御出シニ
ナツタ、ソレガ爲ニ相當多クノ場所ニサウ
云フモノガ出来テ居ルノデス、其ノ後ガ繼
續シテ居ラナイ、デスカラ唯其ノ當時一時、
金ヲ貰フト云フコトガ目的ノ爲ニ開墾ヲヤ
ツタコトガアルヤウニ私ハ見受ケルノデ
アリマス、餘リ此ノ點デ長ク時間ヲ費ス
ルコトハ、大臣モ御見エニナツテ居リマス
カラ差控ヘマシテ、唯簡單ニ申上ゲマスルト、
此ノ事柄ニ付キマシテハ、今後一應十分御調
査ニ相成ラレマシテ、何等カノ對策ヲ講ジ
テ戴ク必要ガアルト云フコトヲ私ハ痛切ニ
感ズルノデス、折角斯ウシテ山林ノ國策ヲ決
メテ、國土保安ノ大方針ヲ立テテモ、一方
デ又山ノ皮ヲ剥イテ、剥ツ放シデ抛ツテ置
クト云フヤウナコトガ出来テハ、甚ダ是ハ
遺憾デアルト思ヒマスノデ、此ノ點ハ御所
管ノ關係上、ヤハリ山林局ノ御仕事ニ御協
力相成ラレルコトヲ切望スルノデアリマス、
ソレカラモウ一ツ伺ツテ置キタイノハ、ヤ
ハリアナタノ御所管デアルノデスガ、山村
ニ最近貯水池ヲ拵ヘテ——灌溉用ノ溜池ヲ
拵ヘテ、ソレデ灌溉ノ溜池デスカラ其ノ影
響ヲ受ケル所ハ平坦部ノ耕地面ノアル所デ
アリマス、溜池ヲ拵ヘタ所ハ山村ニナルノ
デス、ソコデ山村ノ方ハ直接受益者ニナラ

ズシテ、其ノ溜池ノ築造ダケサレルト云フ
コトニナリマシテ、利益ハ他ノ方面ニアル、
一般カラ見マシテ國家的ニ見タ場合ニハ、
ソレハ米ノ増産ノ大ナル使命ヲ持つテ居リ
マスカラ、ソレデ宜シイノデスガ、一地方
的ニ考ヘテ見マスルト、一方ニハ受益者ガ
起ルガ、一方ニハ唯溜池ダケヲ築造サレル
ト云フコトダケニナルノデスガ、其ノ溜池
ノ害ノ及ブ所ハ受益者ニアラザル方面ニ及
ブノデス、溜池ノ時ニハ御承知ノ堰堤ヲ築
造サレルノデスガ、若シ堰堤ノ工事ガ一ツ
誤ツタナラバ、是ハ人命財産ニ非常ナ慘害
ヲ起スノデス、ソコデ溜池ヲ御築造ニナツ
テカラ後デヤハリ或ハ崩壊ガ起ツタヤウナ
所ヲチヨイ——見受ケルノデス、私モ實ハ水
力發電所ノ仕事デ大キナ河ナシカノ堰止ノ
堰堤ノ築造ニモ關係ヲ致シマシタガ、堰堤ノ
築造ト云フモノハ非常ニ難カシイ仕事デス、
ソレハ水力發電ノ仕事ノ中デハ、土木工事
デ是ガ一番難カシイ、是ハアナタ方ニ申上
ゲルマデモナイコトデスガ、併シ農林當局
ノ設計ニナラレテ居ル方ノ頭ガ、餘リサウ
難カシイヤウニ感ジテ居ラナイヤウニ思
フ、ソレヲ私ハ非常ニ心配スルノデス、ソ
コデ斯ウ云フ仕事ニハヤハリ農林省當局ノ
方デハ、農林省ニモ土木ノ權威者ガ居ルデ

アラウト思ヒマスケレドモ、内務省アタ
リハ土木ノ權威者ガ居ラレマスカラ、今後
其ノ築造ニ對シテハ、御協議ニナラレテ
御決メニナルヤウニ、一ツ御計ヒラシテ戴
キタイ、又一ツハソレガ下流ノ害ヲ受ケル方
面ガ非常ニ安心シタ状態ニモナルノデアリ
マシテ、斯ウ云フ點ニ對シマシテハ、ドウ
云フ風ニ御考ニナツテ居ラレマスカ、受益
者ノ爲ニハ此ノ溜池築造ニ對シマシテハ萬
全ノ御計ヒラサツテ居ラレルト思ヒマス
ガ、現在ノ私共ノ見テ居ル範圍デハ、ドウ
モ溜池ノ築造ハ輕イ氣分デ取扱ハレテ居ル
ノデヤナイカト云フ考ガゴザイマスノデ、
之ニ對スル目下ノ御考ヲ伺ツテ置キタイ
○小濱政府委員 土地ヲ拓キマスルニ當リ
マシテ、治山治水ノ關係カラ見マシテ、ソ
レヲ開墾スル方ガ宜シイカドウカト云フ
コトニ付キマシテハ、地方ニ於キマシテモ
林務ノ關係ノ者ト耕地ノ關係者トガ能ク
協議ヲシテヤルベキモノト思ヒマス、其ノ
點ニ付キマシテ、必ズシモ完全ニ協議ガ出
來テ居ルカドウカト云フコトニ付キマシテ
ハ、多少遺憾ノ點モアツタラウカト考ヘマ
ス、尙ホ農務局ト山林局トノ間ニ於キマシ
テハ、サウ云フ點ニ付テハ開墾シナイ方
ガ宜シイト云フモノヲ無理ニヤラウト云フ

コトハ致シマセヌ、サウ云フ點ニ付テハ、
能ク山林局ト此ノ上トモ協議ヲ致シテ參リ
タイト考ヘテ居リマス、尙ホ下流ノ平野ニ
水ヲヤリマス爲ニ、山村ニ溜池ヲ築造サレ
マス、利益ヲ受ケルノハ下流ノ平野デゴ
ザイマスガ、土地ヲ潰サレルノハ山村デア
ルト云フ御説ハ御尤デアリマス、隨ヒマシ
テ水利事業ニ助成ヲ致シマスル場合ニ於キ
マシテハ、其ノ計畫ガ利益ヲ受ケマスル下
流ノ者ノミノコトヲ考ヘマセヌデ、其ノ計
畫ハ上流ニ於テ溜池ヲ造ル場合ニハ、
溜池ヲ造リマスル村ノ方トノ話合ヒハ
ドウ云フ風ニナツテ居リマスルカ、此ノ
點ニ付テハ異議ガゴザイマセヌカト云フ
コトヲ確メテ、其ノ計畫ニ對シマシテ
異議ガナイト云フ所デ助成ヲ致スヤウニ心
掛ケテ居ル積リデゴザイマス、唯此ノ事業
ハ非常ニ必要ナルガ故ニ是非ニト云フノデ
度々陳情等ニ參ラレル場合ガゴザイマス、
ソレデ是ハ非常ニ熱望シテ居ラレルモノダ、
又其ノ計畫ニ付キマシテモ關係者ノ間ニ能
ク協議ガ調ツテ居ルモノト思ツテ進メテ居
リマスルト、一部分ノ所デアア云フ溜池ヲ
造ツテハ困ルト云フヤウナ反對ノ陳情ガ能
ク參ルコトガゴザイマス、ソレ等ノ點ニ付
キマシテハ助成ヲ致シマスルニ當リマシテ

十分注意ヲ致シテ居リマスル積リデゴザイマス、尙ホ堰堤築造等ニ付キマシテ、之ヲ

サウ重視シテ居ラナイノデハナйкаト云フ御意見ニ付キマシテハ、堰堤ヲ造リマシテソレガ崩壊ヲ致シマシタ場合ニ、如何ナル

慘害ガ及ブカト云フコトニ付キマシテハ、農務當局ト致シマシテハ、十分ニ認識ヲ致

シテ居リマス積リデアリマス、隨ヒマシテ築造ノ設計等ニ付キマシテハ、十分念ヲ入

レテヤツテ居リマスル積リデアリマシテ、其ノ後ノ工事等ニ付キマシテモ色々注意ヲ

致シテ居リマスル積リデアリマス、サウ云フ事柄ニ付キマシテ農業土木ノ關係ノ者ガ

技術的ニ信用ノ置ケナイ者ト云フ風ニハ私達ハ感じテ居リマセヌ、併シナガラ土木ノ

技術其ノモノニ付キマシテハ、内務省ノ堰堤ノ工事ニ携ツテ居ラレル者、或ハ農業、

土木ニ携ツテ居リマスモノモ、技術的ノ色色ノ研究ハ是ハオ互ニ致シテ居リマス、又致

スベキモノト考ヘマス、唯農業土木ニ携ツテ居リマス者ノ技術的ノ信頼ノ點ニ付キマ

シテハ、私達決シテ其ノ點ニ付テハ不安ヲ持ツテ居リマセヌ積リデアリマス、併ナガ

ラ堰堤ヲ築造致シマスルニ付キマシテハ、設計等ニ付テハ十分ニ念ヲ入レテヤツテ居

リマス積リデアリマス、尙ホ將來ニ於キマ

シテモ十分ニ念ヲ入レテヤリマス、斯様ニ考ヘマス

○松尾(四)委員 ドウカ十分ニ御留意下サ

イマスコトヲ希望致シマシテ、私ハ是デ質

問ヲ終リマス

○小山委員長 此ノ際山川君カラ松尾君ノ

質疑ニ關聯シテ極メテ簡單ナ發言ノ要求ガ

アリマス、之ヲ許可致シマス

○小川委員 入念ノヤウニナリマスガ、林

道ノ問題デアリマスガ、林道ノ豫算ハ昨年

ノ豫算、一昨年ノ豫算ト比ベマシテ、本年

ハ大差ガナイ、減ツテ居ル位ナコトニナツ

テ居リマスガ、此ノ森林法ニ依ツテ林道ノ

助成金ヲ貰フノガ目的デ從來森林組合ヲ拵

ヘテ居ツタノデアリマス、從來ハ其ノ仕事

ニ對シテノ豫算ガ組マレテ居ツタノデアリ

マスガ、此ノ度組合ハ今度新シク規則ガ出

來テモ、同ジヤウニ認メル、其ノ儘放ツテ置

イテ五箇年シタラハ新シイ組合ト見ル、

小サイモノハ合併サシテ一村一組合ニスル

ト云フ方針ヲ執ルト云フ風ニ言ハレテ居

ル、サウシタラ昔カラズツト貰ウテ居ツタ

所ノ補助金ト云フモノハ、前ト同ジダケノ

豫算ガ要ル譯ナンデアル、新シク法ガ改正

サレマスレバ、林道ノ方モ、之ヲ目的ニ一

村一組合ノモノガ今マデ無イ所ニ更ニ出來

ルノデ、其分モナケレバナラス、法律ヲ拵

ヘタ以上ハサウ云フモノガアルベキ筈デア

ル、サウシタラソレニ對スル豫算ト云フモ

ノモ、從來百萬圓ノモノナラバ、舊法ニ依

ルモノガヤハリ存在シテ居ルノデアアルカ

ラ、舊法ニ依ルモノガ百萬圓、新法ニ依ツ

テ新シク請求スルモノガ百萬圓ナラ百萬圓

ト云フ風ニ、倍ノ豫算ガ計上シテナケレバ

ナラヌ理窟ニナルト思フノデアリマスガ、

政府ハ此ノ法律ガ通過シタ曉ニ追加豫算デ

モ御取リニナル所ノ御計畫ガアルノデアリ

マスガ、マア今年ハ規則ハ規則デサウ云フ

風ニ改正ヲシテ置イテ、來年カラデモボツ

ボツ其ノ請求ニ應ズルト云フ積リデ豫算ヲ

増加スルト云フ精神デアリマスガ、私ハ本

法ヲ御拵ヘニナリマシタ以上ハ、其ノ法律

ハ成立ツモノトシテ御提出ニナツテ居ルト

信ズルノデアリマス、吾々モ亦政府ノ提案

ニ對シテ其ノ法ヲ信ジテ審議ヲスルノデア

リマスカラ、ソレニ對スル豫算ト云フモノ

ハ、從來ノ森林組合ノ爲ニ計上サレタ所ノ

豫算ノ外ニ、新法ノ成立シタ曉ニ對スル豫

算ト云フモノガ計上シテナケレバナラスト

思フノデアリス、其ノ點ニ付キマシテ、ド

ウカ豫算ノ金額等ニ付テ御答辯ガ願ヒタイ

ト思ヒマス

○村上政府委員 本年度ノ豫算ハ全部デ百

三十萬圓ニナツテ居リマス、是ハ市町村等

ノ經營スル所ノ林道竝ニ森林組合ノ經營ス

ル所ノ林道、兩方ヲ含メテアル次第デアリ

マス、隨テ其ノ中ニハ新法ニ依ル所ノ森林

組合ノ經營スル所ノ林道ノ助成モ含マレテ

居リマス、尙ホ林道ノ豫算ニ付キマシテハ、

屢、申上ゲマシタ通り、現在ノ豫算ガ過小デ

アルト云フコトハ私共認メテ居リマシテ、

明年度以降ニ付キマシテハ、是ガ擴充ニ付

テ十分努力致シタイ、斯ウ云フコトヲ屢、答

辯致シテ居リマスガ、茲ニ追加豫算トシテ

出シマスコトハ、是ハ困難ト思ヒマス

○山川委員 サウシテ見マスルト新法ヲ出

サレルトニ付キマシテ、新法ニ對スル豫算

ガ計上出來テ居ラス勘定ニナリマス

○村上政府委員 御承知ノ通り新法ガ出來

マスレバ、今後新法ニ依ル所ノ組合ガ多ク

ナツテ來ルダラウト思ヒマス、從來ノ組合

ハ既ニ出來テ、ソレニ對スル助成ガアリマス

カラ、今年カラ組合ヲ作ラレル場合ニハ新

シイ組合ハ新法ニ依ラナケレバナラヌ譯

デ、從來ノ組合ハ今後五箇年間ハ存續ハ出

來マスケレドモ、從來ノ組合法ニ依ル組合

ハ今後ハ出來マセヌ、今後林道ヲ目的トシ

テ組合ヲ作ラレルバ、新法ニ依ル譯デアリ

マス、隨テ此ノ百三十万圓ノ大部分ハ新法ニ依ルモノト思ヒマス、勿論昨年成立シテ居リマス所ノ森林組合ガ林道ノ續行ヲ致シマスルヤウナ時分ニハ補助致シマスガ、大體此ノ百三十万圓ノ多クハ新法ニ依ル所ノ林道ニ變ルト思ヒマス

○山川委員 デアリマスルカラ足ラスト云フノデス、新法ニ依ラウガ舊法ニ依ラウガ、是ガ極ク不便ナ小ナ組織ヲ認メラレテ居リマシテ、サウシテ百三十万圓御計上ニナツテ居ル、ソレニ今度新法ヲ拵ヘタナラバ、是ノ請求ガ益盛ニナルト云フノガ目的デ、又ソレガ爲ニ規則ヲ御改正ニナリマスカラ、舊法ニ依ツテ請求サレテ居ツタモノガ未設ノ道路ヲ新法ニ依ツテ交付シテ貰フノデハアリマスケレドモ、必要ナ箇所ハ新法ガ出來タカラト云ツテ、舊法デ貰ツテ居ツタモノガ必要ガ無クナルノデハナイ、同ジヤウナ必要ヲ感じテ居ル、其ノ外ニ新シイ法律ニ依ツテ之ヲ認メルモノガ出來テ來タラ、ソレダケ殖エナケレバナラヌカラ、百萬元ノモノナラニ百萬元ニナル、百三十万圓ノモノナラニ百六十万圓ノ御計上ニナツテ、此ノ改正ヲ御出シニナルノガ私ハ普通ダラウト思フ、其ノ點ニ付キマシテ少シク合點ガ參ラスト思フノデアリマス、ケレドモ、モ

ウ是レ以上申上デマシテモ、追加ト云フコトハ困難デアルト仰セラレルノデアリマスカラ、ドウモ仕方ガアリマセヌガ、兎ニ角是ノ豫算ハ常ニアリマスガ、實行豫算ニ於テ常ニ減額サレテ居ル、實行豫算ニ於テ其ノ金額ヲ減スヤウナコトヲシタラ、尙更ソコニ缺陷ガ行クト云フコトニナツテ、何時マデ經ツテモ其ノ目的ノ一部モ達スルコトガ出來ナイト云フヤウニ前途ヲ憂ヘルノデゴザイマスノデ、ドウカ大臣閣下ニ於カセラレマシテモ、此ノ點ニハ十分ノ御留意ヲ願ヒマシテ本豫算ニ付キマシテハ、御努力ヲ願ヒタイノデアリマス、先程モ申シマシタ通り百姓ハ大藏大臣ニ本年ハ米代デ一億二千万圓ノ貸ガアリマスカラ、ドウゾ其ノコトヲ御承知置キヲ願ヒタイ、最高價格ヲ三圓叩イテ居ラレル、四千万石ノ米ヲ百姓ガ賣ルトシテ、三圓叩イテ居ルカラ一億二千万圓張ツ放シデアルカラ、農林省ハドン／＼大藏省ニ請求シテ貰ヒタイ、ドウカ其ノコトヲ御願シテ置キマス

次ハ今松尾君カラ御話ニナリマシタ池ノ問題デアリマス、此ノ池ノ問題ハ松尾君ハ設計ガ危ナイト云フ御話デアリマシタガ、私ハ是ハ設計上ニ於テハ信頼ヲ致シテ居リマス、池ノ中ガ三割、外ガ二割五分、是ダケ

ノ勾配ヲ持タシテ堰堤ヲ造ツテ居ラレル、又兩側ニ何十尺ト岩ノ筋目ノナイ所マデ切込シテソレニ石堰堤ヲ突込シテ造ツテアル、私共ハ飽クマデ出來マシタ所ノ今日ノ此ノ進シダ設計ヲ信頼ラセヌコトハナイノデゴザイマスガ、ドウゾ此ノ池ノ豫算ヲモツト殖シテ貰ヒマシテ、灌漑ノ途ヲ圖ツテ貰ハナケレバナラスト思フノデアリマス、之ニ

對スル豫算モ林道ト同ジヤウナ譯合デ、昨年ト今年ト比ベテ、今年餘計ニ計上ハ出來ナイト思フノデアリマス、デアルカラ、之ニ對シテモモツト殖シテ貰ハナケレバナラス、池ヲ拵ヘタラ危イト云フコトハ決ツタモノデアルガ、ソレナラ昔カラアル池ハドウカト云フト、一割八分或ハ二割位ノ勾配ガ主デア、コンナ勾配ノ池デサヘモ今日マデ持ツテ居ツタ、其ノ池ハ今タビ／＼色々ノ障礙ヲ起シテ大水ノ時ニ流レテ、サウシテ下流ノ水田ヲ損ネルコトハ非常ナモノデアリマスガ、非常ナモノダカラト云ツテ、池ヲ止メルト云フコトニナツタラ、今度ハ人間ガ米ガ出來ズニ喰ハズニ死ナナケレバナラスト云フコトニナルカラ、百年ニ一回位ハ水ガ出テ流サレルコトハ仕方ガナイ、萬一ノ事ガアルコトハ承知シテ居ツテモ、池ハ造ラナケレバナラス、唯其ノ害ノ成ベ

ク少イコトヲ希望スル、ドウシテモ此ノ池ニ對スル經費ヲモウ少シ御計上願ヒタイ、是モ先ニ申上デマシタヤウニ大藏大臣ニ貸ガアリマスカラ、ドウゾ其ノ中カラ御取リヲ願ヒタイト云フコトヲ大臣ニ御願申上デマスノデアリマス

ソレカラ其ノ次ニモウ一ツ御願申シマスノハ「ダム」ノ問題デアリマス、一時間ニ降ツタ水ヲ一時間半ニ閉メ流シラスル、留メ流シラスル、是ハ外國ニ行ハレテ居ルコトデア、此ノ水ガ八合ノ水デアツタラ安全ダ、九合ノ水デアツタラ安全ダ、但シ十合ニナツタラ氾濫スル、サウスルト一割カ一割五分ノ雨量ノ水ノ捌ケ場ノ關係デ災害ガ起ルカ否カト云フコトガ分レルノデアリマスカラ、一時間ニ降ツタ水ヲ一時間半掛ツテ流シサヘスレバ下流ノ者ハソレデ安全ナノデアリマス、ダカラ「ダム」ヲ造ツテヤルト云フコトナラ、此ノ川ガ一番餘計氾濫スルト云フコトガ分ツタラ、ソレヲ「ダム」デ水ヲ閉メ流シラスル、此ノ「ダム」ヲ造リサヘスレバ容易ニ災害ヲ防グコトガ出來ルノデアリマス、此ノ組織ガ日本デハ餘リ盛ンニ行ハレテ居ラナイ、ソレニ關スル豫算ノ要求ガ計上サレテ居ラス、他ノ費用ハ計上

サレテ居リマスガ「ダム」ノ費用ガ計上サレテ居ラス、兵庫縣ニ於キマシテモ小野ノ方ニソレガ行ハレルト云フコトヲ聞イデ居リマスガ、「ダム」ノ費用ヲ御組ミニナツタラドウデアルカ

○小山委員長 山川君簡單ニ願ヒマス

○山川委員 其ノ邊ニ付キマシテ、「ダム」ノ問題ノ研究ト「ダム」ヲ應用スルト云フ點ニ付テ、ドノ程度マデ應用ナサルコトニナツテ居リマスガ、ソレヲ一ツ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○村上政府委員 「ダム」ノ問題ニ付テ御答ヲ致シマス、川ヲ閉メ切ツテ洪水ヲ防グ爲ニ遊水林ヲ造ルト云フコトハ第二次治水計畫ノ一部トシテ今實行中デゴザイマス

○小山委員長 一寸御諮リシマス、松浦君ガヤハリ關聯質疑ヲ極メテ簡單ニ致シタイト云フコトデアリマスカラ、之ヲ許可致シマス——松浦君

○松浦委員 大臣ノ御多忙ノ所デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ要領ダケヲ申上ゲマス、本法案施行ニ當ツテノ必須條件ト致シマシテ、林道網ノ擴張計畫及ビ金融ノ問題ノ二大問題ガ此ノ委員會デ再三各委員ヨリ繰返サレテ居ルノデアリマス、今ヤ此ノ委員會ノ中心ハ其ノ二大問題ノ解決ニアルコトニ

至ツタト云ツテモ過言デナイト思ヒマス、隨テ之ニ對シマシテ昨日モ委員會ニ於キマシテ大藏大臣ヨリ色々御丁寧ナル御答辯ヲ戴キマシタガ、併シ大藏大臣ノ答辯ハハツキリシタ的確ナコトデナク、勿論數字等ニ觸レタモノデアリマセヌ、隨テ吾々ト致シマシテハ、大藏大臣ガアレダケノ氣持デ此處ニ御答辯ニナツタ以上、農林省ニ於キマシテハ民意ヲ尊重シテ十分ナル施設ヲ研究セラレ、大藏大臣ノアノ氣持ニ喰込シテ、サウシテ現在ノ林政ニ對スル適當ナ方法ヲ講ジナケレバナラスト思フノデアリマス

ガ、過日來論議中ニ於キマシテ、山林局長ヨリ御發表ニナリマシタ全國林道網ノ總延長ハ二萬二千五百料、是ノ利用スル面積三

百萬町歩ト云フヤウナ御答辯ガゴザイマシタガ、實際ノ實況ニ徴シマスト、吾々ノ見解カラハ、約九萬料ノ林道ヲ必要トシ、而モ四百五十萬町歩ノ利用面積ヲ持ツテ居ル而モ九萬料ノ總工費ハ三億圓、四割ノ國庫補助ヲ致シマスト一億三千五百萬圓、十箇年ノ計畫ニ致シマスト千三百五十萬圓ノ一箇年ノ經費ノ支出ヲ要スルモノト私ハ信ズル者デアリマス、之ニ對シテ更ニ又金融ノ問題デアリマスガ、非常ニ御忙シイ所デアリマスカラ、其ノ理論ニ付テハ、各委員ノ

論議セラレマシタ論議ヲ茲ニ援用致シマシテ議論ヲ省キマス、此ノ二大問題ニ對シマシテ如何ニ農林大臣ノ決意ガアルカ、先刻申上ゲマシタガ、此ノ林政ヲ徹底スル上ニ於テ有ユル障礙ヲ突破シテ、此ノ林政ノ革新ヲ企テ、林政ノ更生ヲ圖ルト云フコトニ付キマシテ、農林大臣ノ所信ヲハツキリト此處ニ表明セラレタイト思ヒマス

○櫻內國務大臣 林道網ノ普及ニ付キマシテハ、本委員會ニ於テ最モ熱心ニ唱道セラレテ居ル所デアリマスガ、農林當局ト致シマシテモ此ノ點ニ付キマシテハ全く御同感デアリマス、隨テ明年以後ニ於ケル所ノ林道ノ計畫ニ付キマシテハ深く研究致シマシテ、出來得ル限りノ努力ヲ致シタイト考ヘルノデアリマス、森林金融ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ最モ急ニ迫ツテ居ル問題ト考ヘテ居ルノデアリマシテ、適當ナル方法ヲ講ジタイト目下調査ヲ進メテ居ルノデアリマシテ、速カラザル中ニ於テ是ガ具體案ヲ得タイト考ヘテ居リマス

○山川委員 大臣ノ居ラレマス間ニモウ一ツ御尋シタイト思ヒマス

○小山委員長 關聯質疑トシテハ關聯以外ノモノガアルヤウデスカラ、極メテ簡單ニ願ヒマス

○山川委員 大臣ニ御伺申上ゲマス、本會議デ御質問申上ゲタコトデアリマスルガ、山林會法ノ制定ト云フコトハ非常ナ大切ナ問題デアツテ、森林法ガ出來タカラ山林會法ハ宜カラウト考ヘテ居ル、斯ウ云フ御話デアリマスケレドモ、此ノ林業ヲ盛ニスルト云フコトハ、何處マデモ此ノ森林法ト相俟ツテ山林會法ガナケレバナラスト私ハ信ズルノデゴザイマス、ドウカ是ノ制定ヲ是非希望致スノデアリマスルガ、此ノ事ヲ大臣ニ御願申上ゲ、又大臣ノ御考ト御努力ヲ御願申上ゲタイト思フノデアリマス、ドウカ之ニ對スル御所信ヲ承リタイト思ヒマス

○櫻內國務大臣 御希望ノ點ハ承ツテ置キマスガ、未ダ此ノ問題ニ對シマシテハ具體的ニ答辯ヲ致スマデニ立至ツテ居リマセヌ

○小山委員長 各委員ヨリノ通告ニ依ル質疑ハ是ヲ以テ終了致シマシタ、仍テ質疑ヲ打切りマシテ、討論ニ入リタイト思ヒマス、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○小山委員長 御異議ナシト認メマス、是ヨリ討論ニ入リマス——長野君

○長野委員 私ハ立憲民政黨ヲ代表致シマシテ、森林法中改正法律案並ニ林業種苗法案ノ二件ニ對シマシテ賛成ノ意見ヲ陳述致シ

タイト考ヘルノデアリマス、森林法中改正法律案ハ、民有林特ニ私有林ノ經營ハ從來直接國土保全其ノ他公益上ニ關スル場合ノ外ハ所有者ノ自由ニ放置セラレテアツタノヲ、今回極メテ小面積ヲ除イテ民有林總テニ互ツテ森林組合ヲ設置セシメ、施業案ヲ編成セシメテ地方長官ノ認可ヲ得テ林業ノ合理的經營ヲ爲サシムルモノデアリマス、是レ現行森林法ガ施行以來既ニ三十有餘年ノ年月ヲ閱シ、時勢ノ推移ニ副ハザルモノデアルカラ、改正ヲ要スルコトハ勿論デア、其ノ上年々濫伐ニ陥リツツアル私有林經營ノ現況ニ鑑ミ、更ニ現時ノ木材需要ノ激増ニ對スル對策上、茲ニ現時局下ニ於ケル國際收支ノ調整上民有林ノ經營ヲ合理的ナラシメ、以テ木材資源ノ確保、増殖ニ依リ自給自足ニ資シ、併セテ國土保全ノ基礎ヲ完カラシムルハ國家喫緊ノ要務デアリ、本改正ハ此ノ時運ニ即應セントスルモノデ時宜ヲ得タルモノト認ムルノデアリマス、唯併シナガラ本改正案ノ實施ニ際シマシテハ、施業案ノ編成、其ノ他監督上ノ措置ハ專ラ民間ノ實情、民意ヲ基礎ト致シマシテ、監督ノ如キハ指導ニ重點ヲ置クベキデアルト考ヘルノデアリマス、苟モ實際ノ法ノ運用ニ當リマシテハ、官僚獨善ノ弊ニ陥ラザル

ヤウ嚴ニ戒慎ヲ要スルモノガアリマス、萬一不當ノ處分ノアツタ場合ニ關シテハ、政府ハ特ニ當事者ノ申出ニ依ツテ主務大臣ガ之ヲ匡正スルノ途ヲ講ズルコト、又施業案ノ認可ノ方針ニハ地方ノ實情ニ適應セシムベク、民間權威者ノ意見ヲ參酌スル等適當ノ方法ヲ講ズルコトニ同意ガアリマシタノデ、此ノ點ニ關スル運用ノ弊ハ避ケラレルト認メマス、仍テ我黨ト致シマシテハ本案ニ對シ本改正目的達成ノ上ニ、本案ノ施行ニ不可分のニ施設ヲ必要トスル森林金融ト林道ニ關スル二ツノ事項ヲ附帶決議トスルコトニ於テ賛成致スノデアリマス、即チ其ノ一ハ森林經營ノ特殊性ヨリ森林金融ハ低利長期豐富ノ金融ヲ必要トスルノデアリマス、從來其ノ施設ガナク、大多數ノ林業者ハ適當ノ金融ノ途ヲ得ナカッタコトガ林業ノ不振ヲ來シ濫伐ノ弊ヲ誘致シタルモノデ、施業案ニ基キ合理的植伐計畫ヲ實行舉ゲ、本改正ノ目的ヲ達成スルニハ、此ノ際同時ニ特殊ノ強力ナル金融機構ヲ設クルコトガ絕對ニ必要ト信ズルノデアリマス、其ノ二ハ從來民有林經營ノ不振ハ運搬施設ガ甚ダ不備デアアルコトカラ前述ノ金融施設ノ不備ト相俟ツテ、其ノ二大主因ヲ爲シテ居ルノデアリマス、本改正ニ依リマシテ施業合

理化ヲ實現スル爲ニハ、政府ハ同時ニ全國ニ互リ綜合充實セル林道網ヲ開設普及ノ計畫ヲ樹立致シマシテ、之ヲ實行スルニアラザル限り之ヲ庶幾スルコトハ不可能デアリマス、森林ノ開發、資源ノ増産、濫伐ノ防止ハ到底期待スルコトハ出來ナイモノト認メマス、仍テ本森林委員會ノ附帶決議ト致シマシテ一、林業ニ對スル特殊金融制度ノ確立ヲ見ルニアラザレバ本改正ノ目的ヲ達成スル能ハズ、政府ハ速ニ是ガ實現ヲ期スベシ

二、政府ハ林道ノ開設普及ニ依リ奥地森林ノ經濟的利用ヲ促進シ以テ資源ノ保持開發ニ努ムベシ

以上二ツノ事項ヲ附帶決議ト致シマシテ、之ヲ條件ト致シマシテ、本改正案ノ原案ニ賛成スルノデアリマス

尙ホ私ハ災害防除林業施設計畫ニ付テ一言申上ゲタイノデアリマス、山岳地帯ニ於ケル地盤ノ強化工作ヲ行ヒマシテ、水害ヲ誘發シ水禍ヲ激甚ナラシムル主因ヲ爲ス林野ノ崩壊ヲ未然ニ防止スルコトハ、荒廢林野ニ對スル砂防植栽砂防工事等ニ依リ治山ノ施設ト相俟ツテ、水害防止輕減上極メテ有効適切、且ツ根本的ノ施設デアアルノデアリマス、又我國特有ノ

環境ヨリ惹起セラレマスル所ノ暴風デアルトカ、冷風デアルトカ、雪崩デアルトカ、津浪デアルトカ、地ニ等ニ因ル所ノ慘害ハ、全國多數ノ府縣ニ互リマシテ、年々歳々極メテ莫大ニ達スルノデアリマス、爲ニ國民生活ノ基礎ヲ脅威シ、産業ノ發達ヲ阻害スルコトガ極メテ大デアリマス、是ガ對策ト致シマシテハ、政府ハ昭和十二年度以降五箇年計畫ヲ以テ砂防工事ノ計畫ヲ爲サレテ居リマスルケレドモガ、是ハ施設ヲ要スルホンノ一部分ニ過ギナイト考ヘテ居リマス、甚ダ私ハ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ法案中ニ國土保全、生産保護ト云フ八字ノ文字ガアリマスルガ、私ハ之ヲ非常ニ重視スル者デアリマス、此ノ國土保全ト云フコトニ依リマシテ、日本ノ本當ノ特性ガ湧イテ來ルノデアリマス、是カラ即チ日本精神モ湧イテ來ルノデアアル（「ヒヤ／＼」）是ガ基ニナツテ日本ノ産業ノ有スル基礎ト云フモノガ成立ツテ來ルノデアリマス（拍手）サウシテ斯ウ云フモノガ立派ニ國土保全全ガ出來マスレバ、茲ニ災害ト云フモノハ豫メ防止ガ出來マス、豫メ防止ガ出來マスルト、所謂五穀豐穰デアリマシテ、國民親和ノ實ハ本當ニ舉ルノデアリマス（拍手）然ルニ此ノ林業國策ヲ私共見マスルト、甚ダ

遺憾ナコトガアルノデアリマス、即チ電力

ノ水ガ潤レテカラ植林ヲスル、或ハ大戦争

ヲシテ馬産ノ改良ヲスル、纖維工業ガ盛ニ

ナツテ初メテ林野ニ目ヲ著ケルトカ、水害

ニ遭ツテ初メテ治水ニ目ガ醒メルトカ云フ

ヤウナコトデハ、私ハイカスト思フノデア

リマス(拍手)是ハ單ニ林業バカリデハア

リマセヌ、日本ノ國策ヲ見マスルト、甚

ダ大經綸ガナイ、首相ハ國民親和或ハ各

其ノ處ヲ得セシメルト言フケレドモガ、悲

シイ哉、政治ノ貧弱デ國民ハ其ノ處ヲ得

テ居ナイ(拍手)今ヤ我國ハ我國ダケデ考

ヘル譯ニ行カナイノデアリマスルカラ、

日本ト支那ト滿洲ト、此ノ三ツヲ睨ミ合セ

テ、政府ニ一ツ大經綸ヲ立テテ戴キタイ、

特ニ日本ト致シマシテハ、日本ノ國ハ特異

ノ性質ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、農

林當局ハ茲ニ十分ナル御決心ヲ以テ、一ツ

幾年カニ互ル大經綸ヲ立テテ戴キタイと思

フ、此ノ議會ニ於テ此ノ大經綸ガ現レテ居

ナイト云フコトハ、内閣ガ出來マシテ勿々

ノコトデアリマスカラ、是ハ求メラレマセ

ヌ、ドウカ一ツ賢明ナル櫻内農林大臣ガ職

ニ御就キニナツタノデアリマスカラ、茲ニ

大經綸ヲ立テテオヤリニナルヤウ、私ハ櫻

内農林大臣ニ將來ニ互ツテ全幅ノ期待ヲ掛

ケテ本案ニ賛成スル者デアリマス(拍手)

次ニ林業種苗法案ハ本來造林成果ノ良否

ト其ノ種苗ノ良否及ビ地方的適種選擇ノ如

何ニ依ルコト甚ダデアリマシテ、而モ種

苗ノ良否ハ十數年ノ後ニ於テ判明スルノデ

アリマスカラ、不良又ハ不適當ノ種苗ノ使

用ニ依ル損失ハ、森林生産ノ上ニ非常ナ損

失ヲ來スノデアリマスルカラシテ、其ノ選

定ニ付キマシテハ十分ノ御注意ガ願ヒタイ

ノデアル、然ルニ從來ノ種苗ノ生産竝ニ販

賣ハ民間ノ自由ニ放任セラレテ居リマシテ、

不良ナル種苗又ハ地方的ニ不適當ナル種苗

ノ頒布使用ニ依ツテ、造林ノ不成績、多大

ノ不利ヲ招來致シタ事例ガ甚ダクナイノ

デアリマス、木材資源ノ確保増殖ヲ必要ト

スル現下ニアリマシテハ、是ガ改善ヲ講ズ

ルコトハ刻下ノ喫緊事デアリマスノデ、本

法案ハ杉、檜外五種ノ重要樹種、種苗ニ付

キ其ノ優良ナル種子及ビ苗木ノ供給ト、適

地適木ノ配分ヲ全カラシメル爲メ、母樹又

ハ母樹林ヲ設定シ、優良種苗ノ生産確保ニ

努ムルト共ニ、是ガ配分ヲ地方的ニ適合セ

シムベク、其ノ頒布販賣ニ必要ナル施設ヲ

講ゼントスルモノデアリマシテ、森林法ノ

改正ト相俟ツテ正ニ時宜ニ適シタルモノト

認メマシテ、本案成立ニ賛成致ス次第デア

リマス(拍手)

○小山委員長 小田山義孝君

○小山田委員 森林法改正案ニ對シ立憲政

友會ヲ代表致シマシテ、簡單ニ賛成ノ意思

表示ヲ致シタイと思ヒマス、本法ノ改正案

ハ我國森林政策ノ徹底ヲ期セントスル趣旨

ノ下ニ提案セラレマシタル極メテ重要ナル

法案デゴザイマシテ、我國林政ノ將來ニ相

當大ナル變革ヲ齎ラスモノト考ヘラレルノ

デアリマス、連日ニ互ル質疑應答ニ於キマ

シテモ、本案ニ關聯シテ幾多ノ重要ナル問

題ニ付キマシテ論議ヲ交サレタノデアリマ

スルガ、就中「バルブ」資材供給ノ問題、森

林金融制度確立ニ關スル問題、或ハ又林道

開設普及ノ問題、國有林野開墾適地ノ解放

ノ問題、二千六百年紀念植林事業ニ關スル

所ノ問題、又ハ國有林所在町村竝ニ府縣ニ

對スル國庫交付金増額ニ關スル所ノ問題其

ノ他ニ關シマシテ、極メテ割切ナル質問ガ

多カツタノデアリマスガ、政府ニ於キマシ

テハ本法改正ノ趣旨ノ徹底ヲ期スルガ爲メ、

是等ノ諸點ニ付キマシテハ十分御考慮ノ上

ニ、是等ノ要望ニ副ハレンコトヲ希望スル

次第デゴザイマス、尙ホ本法ノ運用ニ關シ

マシテハ萬遺憾ナキヲ期セラレタイノデゴ

ザイマシテ、殊ニ第九條乃至第十一條ノ適

用ニ付キマシテハ、公有林タルト、私有林タ

ルトヲ問ハズ、其ノ所有者ニ對シテハ努メ

テ畫一的ノ制限ヲ避ケマシテ、其ノ地方ノ

實情ニ即シタル、又其ノ生活ノ實情ニ即シ

タ所ノ彈力アル施策案ノ編成ヲ爲サシムル

コトニ一段ノ御留意ヲ望ムモノデアリマス

次ニ林業種苗法案ニ付キマシテハ、森林

法ノ改正ト併行シテ種苗ノ統一ヲ圖リ、優

良種苗ヲ豊富ニ供給セントスルモノデアリ

マスガ、本法施行ニ際シマシテハ、母樹林

所有者トノ關係ヲ圓滑ニ致シマシテ、官民

協力ノ實ヲ擧ゲラレンコトヲ希望シテ兩案

ニ對スル賛成ノ意見ト致シマス

尙ホ只今長野君ヨリ御述ニナリマシタル

森林法中改正法律案ニ對スル二ツノ附帶決

議ハ、我國森林國策ノ徹底ヲ期スル上ニ於

キマシテ、又本法改正案ノ實施ヲ支障ナカ

ラシムル上ニ於キマシテ缺クベカラザル所

ノ條件ト存ジマスルノデ、之ニ對スル政府

ノ善處ヲ要望スル意味ニ於キマシテ、併セ

テ贊意ヲ表スルモノデアリマス、簡單ナガ

ラ以上ヲ以テ原案ニ對スル賛成ノ意見ト致

シマス(拍手)

○小山委員長 菊地養之輔君

○菊地委員 私ハ社會大衆黨ヲ代表致シマ

シテ、意見ヲ申上ゲタイと思ヒマス、森林

法中改正法律案ニ對シマシテハ同僚川俣君カラ縷々意見ヲ述ベマシタノデ、私ハ極メテ簡單ニ申上ゲタイト思ヒマス、國家百年ノ林業對策ト致シマシテハ、民有國營ヘ進展セネバナラヌコトヲ私共ハ固ク信ジテ居ル者デアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ、本案ハ極メテ不徹底デアリ、不十分デアルト信ズルノデアリマス、殊ニ森林金融ニ關スル理解ヲ缺クガ如キコトハ、本案ノ致命的缺陷デアルト信ズルノデアリマス、林業ハ造林ヨリ伐採セラルルマデ長年月ヲ要シマシテ、其ノ間林業者ノ一身上又ハ經濟上ニ種々ナル變動ヲ生ジマス、殊ニ林業經營ハ資金ノ固定化ヲ必然ト致シマスノデ、此ノ點ニ關スル大藏、農林兩省ノ答辯ハ必ズシモ私共ヲ納得セシムルモノデハナカツタノデアリマスケレドモ、本案ノ如キモ亦民有國營ヘノ進展ヘノ過程ニ於ケル一ツノ存在ト致シマシテ、將來ヲ期シテ本案ニ贊成致シタイト思ツテ居ル者デアリマス、隨テ民政黨ノ長野君ヨリ提出サレマシタ所ノ林道ノ開設、森林金融ニ關スル附帶決議ニ對シマシテハ、贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス、尙ホ其ノ上ニ私共ハ本案ニ關シマシテ左ノ希望條件ヲ付シタイト存ジマス

一、國有林ノ管理經營ハ地元山村民ト密

昭和十四年二月二十三日印刷

昭和十四年二月二十四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局

接不可分ノ關係アルヲ以テ周到ナル關心ト深キ同情ヲ以テ積極的ニ山村經濟更生ニ對スル組織的指導援助方法ヲ樹立セラレンコトヲ望ム

二、林道ハ勿論ノコトナルモ、索道、貯木場並ニ木炭倉庫等ノ共同施設ニ對シテハ、補助、獎勵ノ途ヲ講ゼラレンコトヲ望ム

三、現下ノ時局ニ鑑ミ、木炭増産計畫ヲ樹立スルト共ニ、製炭業者ニ對シ助成方法ヲ講ゼラレタシ

四、他ノ國有林ト同様、國有保安林所在地尙該町村ニ交付金ヲ交付セシムル途ヲ速ニ開クベシ

五、木炭公定價格ノ改定ノ際ハ製炭業者ノ現状ヲ深く認識ノ上理解アル處置ヲ望ム

尙ホ林業種苗法案ニ付キマシテ申上ゲマス、森林資源造成ノ急務ナル今日、森林生産ノ確保並ニ擴充及ビ森林經營ノ基礎ヲ十分ナラシムル爲ニ本案ニ贊成スル者デアリマス、併シナガラ是ガ適正ヲ期スルコトハ中々困難ナモノデアリマスカラ、本法案趣旨ノ徹底ノ爲、萬全ノ策ヲ執ラレンコトヲ望ンデ贊成スル次第デアリマス

○小山委員長 小田君

○小山委員 我ハ第二控室ヲ代表シテ一言申上ゲマス、現下ノ日本ハ人モ石モ木モ、有ル物悉ク國土ヲ擧ゲテ戰爭勝利ニ向ツテ邁進セネバナラヌデアリマス、仍テ政府ハ木材森林ノ經營ヲ斷乎國營ニ向ツテ其ノ巨歩ヲ向ケラレタイト云フコトヲ強ク要望致シマス、尙ホ國土保存、農產物確保ノ爲、速ニ而モ徹底的ニ防風林、防潮林ヲ國費ヲ以テ造成セラレンコトヲ要望致シマス、以上二點ヲ申添ヘテ本案ニ贊成致シマス

○小山委員長 討論ハ終結致シマシタ、是ヨリ採決ニ入リマス、採決ノ方法順序ハ先ヅ森林法中改正法律案及ビ之ニ付セラレタル二ツノ附帶決議即チ

森林ニ關スル特殊金融制度ノ確立ヲ見ルニアラザレバ本案改正ノ目的ヲ達スルコト能ハズ政府ハ速ニ是ガ實現ヲ期スベシ

政府ハ林道ノ開設普及ニ依リ奧地森林ノ經濟的利用ヲ促進シ、以テ資源ノ保持開發ニ努ムベシ

此ノ二ツノ附帶決議ヲ併セ一括シテ採決スルコトニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○小山委員長 異議ナシト認メマス仍テ森林法中改正法律案及ビ附帶決議二件ニ付キ贊成ノ方ノ起立ヲ求メマス

〔總員起立〕

○小山委員長 全員起立

〔拍手起ル〕

○小山委員長 原案ハ可決セラレマシタ、附帶決議モ併セテ可決セラレマシタ——次ニ林業種苗法案ニ付テ採決致シマス、原案ニ贊成ノ方ノ起立ヲ求メマス

〔總員起立〕

○小山委員長 全員起立

〔拍手起ル〕

○小山委員長 原案ハ可決セラレマシタ、——此ノ際一言申上ゲマス本委員會ニ付託セラレマシタル二ツノ法律案ニ付キマシテハ、各委員ガ連日非常ナ熱意ヲ以テ御審議ヲ進メラレマシテ、幸ニシテ極メテ熱心ニ且ツ圓滿ノ裡ニ兩案トモ全會一致ヲ以テ而モ適切ナル附帶決議ト共ニ可決セラレマシタコトハ、委員長ノ深く感謝致シ、御禮ヲ申上ゲル所デアリマス、本日ハ之ヲ以テ散會致シマス

午後三時二十七分散會